



特集●図書館員養成100周年



# 公共図書館での勤務と 司書課程での学習の接続について

政岡和佳

## 1. はじめに

私は2020（令和2）年度から、自治体の公立図書館で司書職として勤務しています。司書課程履修前は、図書館司書になりたいという思いはあったものの、実際に図書館、そして司書について理解していることはカウンター越しに眺めていたわずかな知識でしかありませんでした。今回、司書として勤務した際に司書課程での経験がどのように生かされたか、入庁して約1年ではありますが、現時点での自身の経験をもとに記述します。

## 2. 司書課程と実務の接続について

2009（平成21）年の「司書資格取得のために大学

において履修すべき図書館に関する科目の在り方について」では、「図書館に関する科目」について「図書館で勤務し専門的職員として図書館サービス等を行うための基礎的な知識・技術を修得するためのものであり、その後、さらに専門的な知識・技術を身に付けていくための入口として位置付けることが適切」とされています。私個人の経験では、司書課程の履修は、引用した「基礎的な知識・技術を修得する」という側面はもちろんのこと、それに加えて「司書」という肩書きを名乗る前に、館種にこだわることなく純粋な興味として多種多様な図書館サービスに触れ、図書館のありかたについて考えられる期間であったと認識して

います。

司書課程の実践型の演習科目は利用者との対面サービスの場面で実際の図書館サービスを行う土台になりました。大学3年次に受講した児童サービス論（汐崎順子先生）を例にあげると、講義では、学生が実際に読み聞かせを相互に行ったり、ブックトークのシナリオを考えたりする実習形式の課題を複数回行いました。そこで出会った絵本や、公立図書館で勤務経験のある汐崎先生から教わった読み聞かせの基本技術は実務で読み聞かせを行う際に念頭におくよう心がけています。ほかにも、情報サービス演習（中村百合子先生）では用意された模擬質問について学生が回答案を作成するレファレンス課題を経験しました。自身で学習する範囲ではなしえなかった実技を司書課程の演習を通して学び、図書館での勤務に備え取り組んでいました。また、2020年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で図書館に配属された当初はすぐに休館してしまい、図書館サービスを職員側の視点からは知りえない状態で勤務が開始されました。対面型サービスが行えないなかで、業務説明を受けた際のイメージ構築の材料も司書課程で学んでいたと感じました。

さらに立教大学の司書課程では国内のみならず、海外の図書館の事例にも触れることができました。大学2年次の図書館基礎特論（小田光宏先生）では外国の図書館事例について、演習形式で複数の図書館について調査する、という内容を受講しました。そこでは受講回で取り上げる国および現地の図書館について調べてくる、という事前課題がありました。大学図書館の所蔵資料やホームページから得たわずかな情報を集めてくるのが精一杯でしたが、外国の図書館に興味をもつきっかけになりました。大学3年時には図書館実習を履修し、参加先には香港の明華神学院の大学図書館を選び、約2週間現地で学びました。香港では大学図書館から、地域密着型の公共図書館まで幅広い館種の図書館を見学させていただきました。特に見学した香港城市大学では多くの所蔵資料を電子化して提供している、といった説明に日本との違いを感じ驚きました。大学図書館では日本の図書館では当時馴染みのなかったドローンでの撮影やVRを用いて資料データをつくる実習を行いました。

図書館実習を通して、印象に残ったことは司書の方たちの資料提供の姿勢でした。香港の司書の

方々は新しい技術に物怖じすることなく、提供できるものは積極的にどんどん導入していこうという姿勢を大切にしていました。とりわけ聖公会曾肇添中学の学校司書の方がおっしゃった「図書館の可能性は沢山ある。それを広げることを私は諦めない」という言葉は強く印象に残っています。

海外の図書館事例に触れたことは、私にとって「図書館」という施設にとどまらず情報サービスを積極的に提供する姿勢を学ぶ機会になりました。また、図書館サービスについて「できる」「できない」といった実際問題とは異なるベクトルで「こういったサービスができたらいいな」「面白そう」というアイデアを醸成する大切さも理解しました。自分は他にも図書館の実践事例を知る必要があると実感したこと、自身のなかで「理想の図書館像」を考えられたこと、それは実際に図書館勤務を経験したときの引き出しになっています。

### 3. おわりに

以上が司書の実務と学修の接続を感じた部分です。司書という職業についてまだ1年という浅い経験ではありますが、だからこそ司書課程での学びがいかに関自身の実務につながっているか実感しています。今後も司書としての経験を深めサービスの向上に努めていきたいです。

（まさおか のどか：横浜市鶴見図書館）

[NDC10：010.7 BSH：1. 図書館情報学 2. 図書館員]